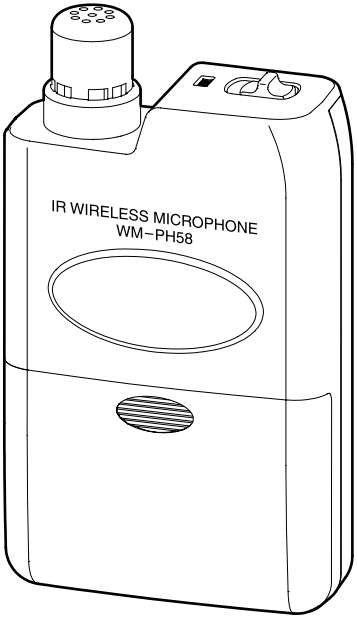
JVC

光ワイヤレスマイクロホン

型名 **WM-PH58**

取扱説明書



− お買い上げありがとうございます。−

ご使用の前に、この「**取扱説明書**」と別冊の「**電池の取扱いについて**」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0834-001F

特長

装着性の良い ペンダント型マイクロホン

首掛け型の送信機一体型のマイクロホンです。タイピンマイク（別売）、ヘッドセットマイク（別売）との組み合わせも可能です。

状況に合わせて入力感度の調節が可能

マイク感度設定スイッチにより、入力感度を２段階に切り換えることができます。

PLL シンセサイザー方式を採用

送信チャンネルを６チャンネルのうちから１チャンネル設定できます。

雑音低減回路を内蔵

雑音が少なく、小さな音から大きな音までひずみの少ない集音ができます。

発光強度の切換が可能

使用スペースに合わせて発光強度を２段階に切り換えることができます。

２つの電源方式を採用

下記の２つの電源方式に対応しています。

- 専用充電式電池
  （別売の専用チャージャーでの充電が必要）
- 単３形乾電池

もくじ

はじめに

特長 2
もくじ 2
安全上のご注意 3
正しくお使いいただくためのご注意 4
各部の名称とはたらき 6

準備

マイクユニットを取り付ける 7
マイクユニットを取りはずす 7
ストラップを取り付ける 8
電池（専用充電式電池 / 乾電池）を交換する 9
充電をする 11
マイク感度を設定する 12
発光強度を設定する 12
チャンネルを設定する 13

使う

装着のしかた 15
タイピンマイクキット（別売）を使う ...16
ヘッドセットマイクキット（別売）を使う 17

その他

こんなときは 18
保証とアフターサービスについて 19
仕様 20

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
⚠ 注意	この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

絵表示の説明

●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号

電源プラグを抜く

一般的指示

⚠ 警告

■ 本機を分解、改造しない。

火災、感電の原因となります。

■ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。

故障、電池の漏液、発火、破裂、火災の原因となります。

■ 充電端子をショートさせない。

故障、電池の漏液、発火、破裂、火災の原因となります。

■ 金属類と一緒に持ち運ばない。

充電端子がショートし、発熱発火の原因となります。

■ 専用の充電式電池、チャージャー以外は使用しない。

専用品以外を使用すると、故障、発熱、発火の原因となります。

⚠ 注意

■ 本機を濡らさない。

故障、発熱、感電の原因となります。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

■ **次のような場所で使用しない。**

故障の原因になります。

- 許容動作温度(0 ℃～ 40 ℃)範囲外の暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度(30 % ～ 80 %)範囲外の湿気の多いところ
- ほこりや砂の多いところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ

■ **直射日光の当たらない、風通しのよい場所に保管する。**

故障の原因になります。

■ **長期間(2 週間以上)使用しないときは、乾電池または専用充電式電池を本機からはずす。**

乾電池または専用充電式電池を本機に入れたままにすると、故障、電池漏液の原因になります。

取り扱いについて

■ **本機は精密機器です。**

下記のような取り扱いをすると、故障の原因となります。

- 手やかたい物、先がとがった物でたたかない。
- 投げつけたりしない。
- 固い床の上や、水の中に落とさない。
- ポケットに入れたまま、いすに座ったり、踏みつけない。
- ストラップやマイクケーブルを持って振り回さない。

■ **電源を入れたままで電池をとりはずさないでください。**

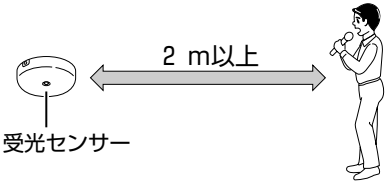
雑音が出る場合があります。

相互妨害について

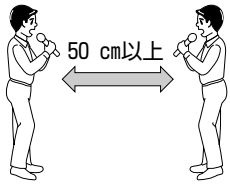
■ **混信や妨害を起こすことがあります。**

下記のように使用してください。

- 受光センサーから 2 m 以上離れる。



- 光ワイヤレスマイクロホン同士を 50 cm 以上離す。



光ワイヤレスシステムについて

■ **音のとぎれや雑音が出ることがあります。**

- 本システムは赤外線を使って音声を送信しているため、光ワイヤレスマイクロホンと受光センサーの間を遮ると音がとぎれることがあります。
- 他の赤外線方式のリモコン装置などの信号によって、影響を受け雑音が出る場合があります。
  障害が起きることがある機器の例
  赤外線リモコン機器
  赤外線無線機器
  プラズマディスプレイ
- 受光センサーに強い光(太陽光、けい光灯、プロジェクター、OHP など)が当ると、音がとぎれたり、雑音が出る場合があります。

ハウリングについて

■ ハウリング現象（”ピーン”または”キーン”という音）が発生する場合は下記の対応を行なってください。

・本機の方向、位置などを変える。
・スピーカーから離れる。
・光ワイヤレスチューナーの音量を小さくする。
・本機のマイク感度切換スイッチでマイク感度を下げる。

マイクユニットについて

■ マイクユニットに衣服などが触れないようにする。

本機にストラップを取り付けて、首から下げて使うときは、マイクユニットに衣服などが触れないようにしてください。
雑音の原因となります。

専用充電式電池について

■ 専用充電式電池の充放電回数は約 300 回。

300 回以下でも動作時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命と思われます。
新しいものをお買い求めください。

■ 不要になった専用充電式電池は充電式電池リサイクル協力店へ。

Ni-MH

不要になった専用充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。
リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC のホームページをご覧ください。
JBRC ホームページ
http://www.jbrc.com/

お手入れについて

■ 本機はやわらかい布でふく。

シンナーやベンジンなどでふくと表面が溶けたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

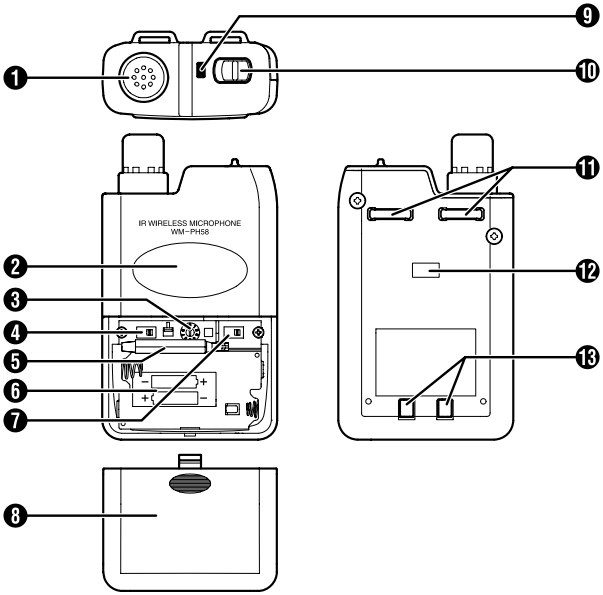
■ 充電端子は時々乾いた綿棒で清掃する。

充電端子が汚れていると、接触不良を起こし、充電できないことがあります。

省エネについて

■ 長時間使用しないときは、節電のため、電源を切ってください。

各部の名称とはたらき



❶ **マイクユニット**
音声を集音します。(☞ 7 ページ)

❷ **発光部**
赤外線を発光します。(☞ 15 ページ)

❸ **チャンネル設定スイッチ**
送信するチャンネルを設定します。
(☞ 13 ページ)

❹ **発光強度切換スイッチ**
赤外線の発光強度を設定します。
(☞ 12 ページ)

❺ **小型ドライバー**
マイク感度設定、発光強度設定、チャンネル設定に使用します。(☞ 12、13 ページ)

❻ **電池室**
電池（専用充電式電池または単 3 形乾電池）を 2 本入れます。(☞ 9 ページ)

❼ **マイク感度切換スイッチ**
マイク感度を設定します。(☞ 12 ページ)

❽ **電池カバー**

❾ **電源ランプ（警告灯）**
- 電源が供給されると、緑色に点灯します。
- 電池消耗時は、赤色に点灯します。
(☞ 9 ページ)

❿ **電源スイッチ**
本機の電源を入 / 切します。

⓫ **ストラップ取付部**
ストラップ（付属品）を取り付けます。
(☞ 8 ページ)

⓬ **チャンネル表示ラベル貼付部**
チャンネル表示ラベル（付属品）を貼り付けます。(☞ 14 ページ)

⓭ **充電端子**

ご注意

- 充電端子に金属物で触れたり、ショートさせないでください。機器の故障や電池の漏液、発火、破裂、火災の原因になります。

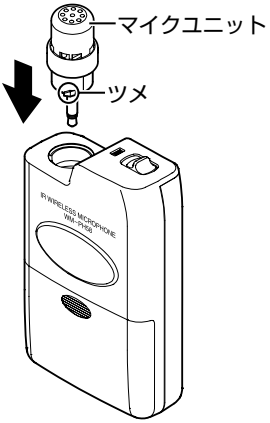
マイクユニットを取り付ける

1. 電源スイッチを切る

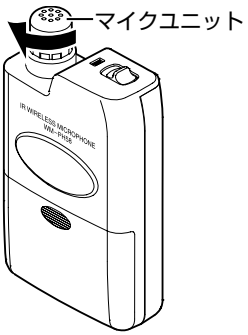
電源ランプが消灯します。

2. マイクユニットを差し込む

マイクユニットのツメを本機の溝部分に合わせて差し込みます。



3. マイクユニットを矢印の方向へまわす

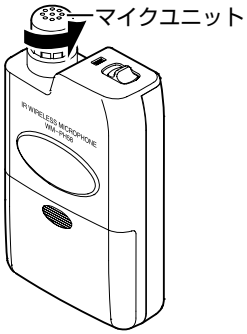


マイクユニットを取りはずす

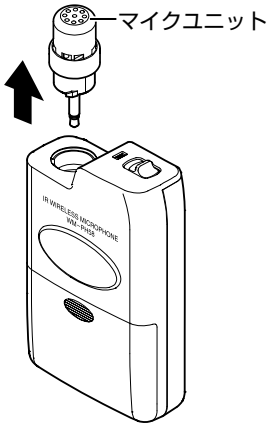
1. 電源スイッチを切る

電源ランプが消灯します。

2. マイクユニットを矢印の方向へまわす



3. マイクユニットを抜く



ご注意

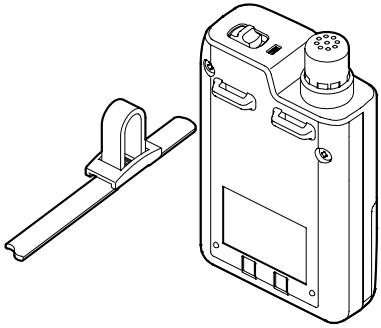
- マイクユニットの取り付け／取りはずしは電源を切った状態で行なってください。電源を入れたまま作業をすると、大きな雑音が出て機器を破損する原因となります。

ストラップを取り付ける

・本機にストラップを取り付けて、首から下げて使います。
・ストラップの長さは、マイクユニットと口との距離が 20 cm ～ 25 cm 程度になるように調整してください。

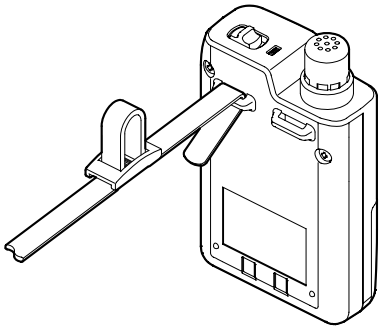
1. ストラップを止め具に通す

ストラップの端を止め具(付属品)に通します。



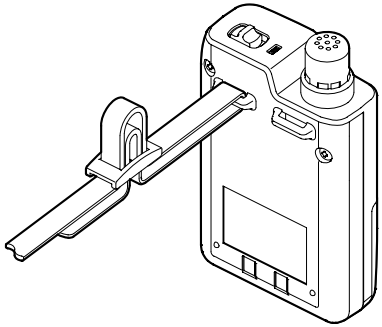
2. ストラップをストラップ取付部に通す

ストラップの端を本機のストラップ取付部に通します。



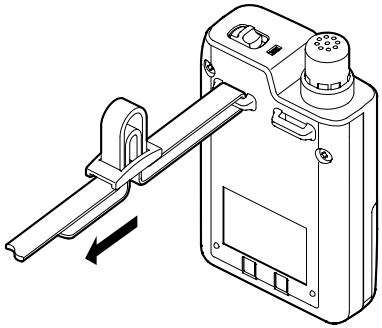
3. ストラップをもう一度付属の止め具に通す

ストラップの端をもう一度付属の止め具に通します。



4. ストラップを固定する

ストラップの長さを調整しながらストラップの端を矢印の方へ強く引っ張り、しっかりと固定します。



5. ストラップのもう一端も同様に取り付けます

ご注意

- 本機にストラップを取り付けて、首から下げて使用するときは、ストラップ取付部側を身体に向けて装着してください。身体に向けて装着するなど、発光部が隠れると下記の状態になることがあります。
  - 音がとぎれる
  - 雑音が出る

電池(専用充電式電池 / 乾電池)を交換する

電池(専用充電式電池または乾電池)を２本入れます。

■ 使用できる電池

専用充電式電池	本機付属の専用ニッケル水素電池 ※専用充電式電池については、お買い上げ販売店または、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。
乾電池	市販の単３形乾電池 (アルカリまたはマンガン)

■ 電池の持続時間について

本機の連続使用時間は下記のとおりです。

使用電池	発光強度	持続時間
専用充電式電池 (満充電後)	HI	6 時間
	LO	9 時間
単３形マンガン乾電池 R6PU	HI	1 時間
	LO	2 時間
単３形アルカリ乾電池 LR6	HI	4.5 時間
	LO	9 時間

※持続時間はめやすです。使用状況、電池の状態、周囲の温度などにより変動します。

■ 電池の消耗について

・電池が消耗すると、電源ランプが赤色に点灯します。
・電源ランプが赤色に点灯したら、乾電池の交換または、専用充電式電池を充電してください。
・電源ランプが赤色の点灯に変わってから使用できる時間は下記のとおりです。

使用電池	電池交換または充電時期
専用充電式電池	電源ランプが赤色の点灯に変わってから、5 分以内
単３形マンガン乾電池 R6PU	電源ランプが赤色の点灯に変わってから、15 分以内
単３形アルカリ乾電池 LR6	電源ランプが赤色の点灯に変わってから、30 分以内

※電池交換または充電時期はめやすです。
使用状況、電池の状態、周囲の温度などにより変動します。

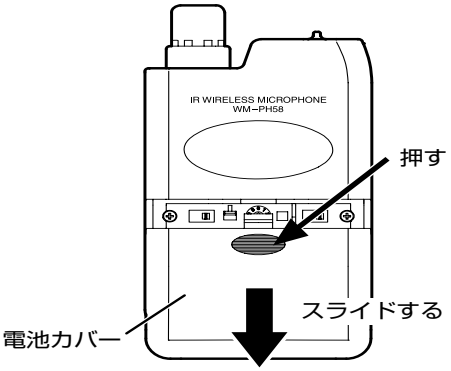
■ 電池の入れ方

1. 電源スイッチを切る

電源ランプが消灯します。

2. 電池カバーを開ける

電池カバーを押しながら矢印の方向へスライドし、電池カバーをはずします。

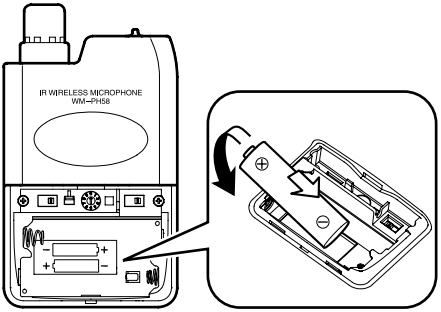


次のページへ続く

電池(専用充電式電池 / 乾電池)を入れる (つづき)

3. 電池を入れる

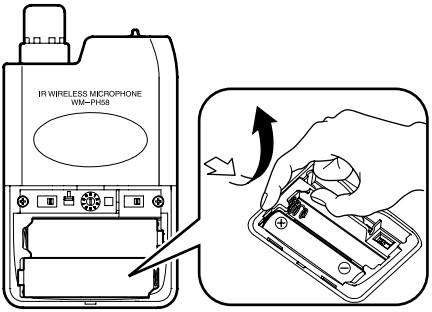
電池の ⊕⊖ と、電池室の ⊕⊖ 表示を合わせ、必ず電池の ⊖ 側から入れます。



＜電池カバーをはずした状態＞

電池を取り出すときは...

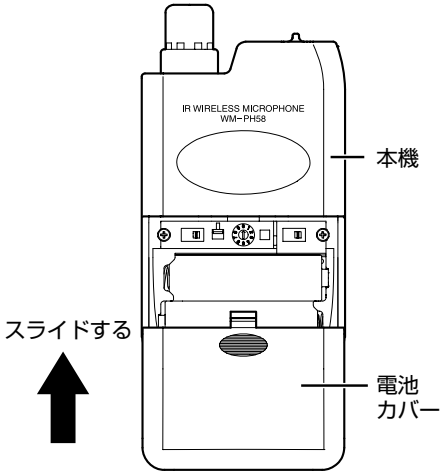
- 電池の ⊕ 側を下図のように矢印の方向に持ち上げてください。



＜電池カバーをはずした状態＞

4. 電池カバーを閉める

電池カバーを本機に合わせ、「カチッ」という音がするまで矢印方向へスライドし、閉めます。



充電をする

・専用充電式電池で本機を使用しているときに、電源ランプが赤色に点灯したら充電します。
・別売のチャージャー(WT-C52)を使って充電します。
WT-C52 の取扱説明書もご覧ください。

ご注意

- WT-C52 以外のチャージャーを使用しないでください。
- 専用充電式電池は、本機付属の専用ニッケル水素電池を使用してください。専用充電式電池については、お買い上げ販売店または、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。
- 本機の電源ランプが赤色に点灯または、消灯しているときは、本機の電源スイッチを“OFF” にしてください。“ON” の状態で放置すると、過放電となり、電池の寿命が短くなる原因となります。
- 下記の場合は、連続使用時間が短くなることがあります。
  - ・お買い上げ後、初めて充電したとき
  - ・本機を長時間使用しなかった後に充電したとき
  - ・電池が過放電になった後に充電したとき

1. 本機の電源スイッチを切る

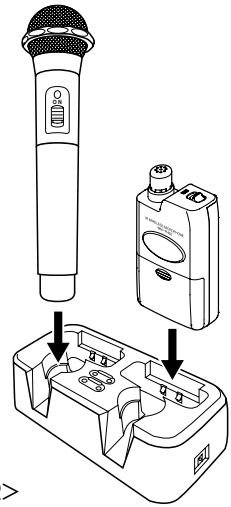
電源ランプが消灯します。

ご注意

- 本機の電源スイッチが”ON”のままだと、正常に充電されません。

2. 本機をチャージャー(WT-C52)に差し込む(下図参照)

・充電が開始すると、チャージャー(WT-C52)の”充電中ランプ”が赤色に点灯します。
・充電が終了すると、チャージャー(WT-C52)の”充電完ランプ”が緑色に点灯します。



<WT-C52>

ご注意

- 本機が正しく差し込まれていない場合は、チャージャー(WT-C52) の " 充電中ランプ " が点灯しません。
正しく差し込んでください。
- 乾電池を使用しているときは充電できません。

マイク感度を設定する

・大きな声(歌声など)で本機を使用するときや、音がひずむときは、感度を「LO」にしてください。「LO」に設定すると、大きな音に対してひずみにくくなります。
(工場出荷時:「HI」)

1. 本機の電源スイッチを切る

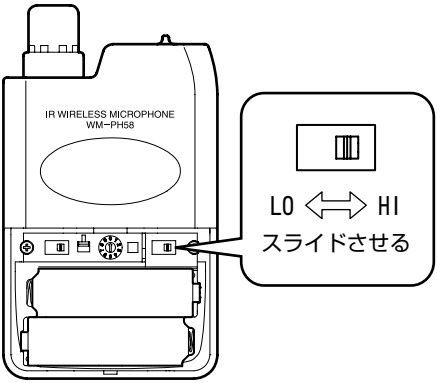
電源ランプが消灯します。

2. 電池カバーを開ける

(☞ 9 ページ)

3. マイク感度切換スイッチを設定する

付属の小型ドライバーで、マイク感度切換スイッチを「HI」または「LO」に合わせます。



4. 電池カバーを閉める

(☞ 10 ページ)

発光強度を設定する

・赤外線の発光強度は、発光強度切換スイッチで「HI」または「LO」に切り換えます。
・使用エリアや使用時間に応じて、発光強度を「HI」、「LO」のどちらかに設定します。
(工場出荷時:「HI」)

1. 本機の電源スイッチを切る

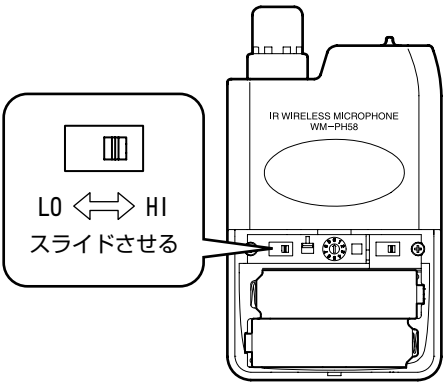
電源ランプが消灯します。

2. 電池カバーを開ける

(☞ 9 ページ)

3. 発光強度を設定する

付属の小型ドライバーで、発光強度切換スイッチを「HI」または「LO」に合わせます。



4. 電池カバーを閉める

(☞ 10 ページ)

チャンネルを設定する

ご注意

- チャンネルの設定は、専門知識が必要となりますので設置業者へおまかせください。

・使用する光ワイヤレスチューナーのチャンネルに合わせて設定します。
・設定をするときは、光ワイヤレスチューナーの取扱説明書もご覧ください。

■ 使用できる光ワイヤレスチューナー

商品名	型名	チャンネル
光ワイヤレスチューナー	WT-PH51	1ch/2ch
	WT-PH53	3ch/4ch
	WT-PH55	5ch/6ch
光ワイヤレスチューナーユニット	WT-UH51	1ch
	WT-UH52	2ch

1. 本機の電源スイッチを切る

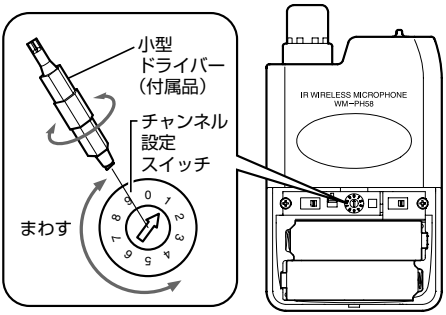
電源ランプが消灯します。

2. 電池カバーを開ける

(☞ 9 ページ)

3. チャンネルを設定する

付属の小型ドライバーで、チャンネル設定スイッチの矢印を使用するチャンネルの数値に合わせます。



ご注意

- チャンネル設定スイッチを、頻繁にまわしたり、強い力で押し付けないでください。故障の原因となります。
- 本機の電源を入れたまま、チャンネルの設定を変更したときは必ず一度電源を切り、再び電源を入れてください。新しい設定に変更されます。電源を入れなおさないと、設定が変更されません。
- チャンネル7～9、0は使用できません。チャンネル1～6のどれかに設定してください。

4. 電池カバーを閉める

(☞ 10 ページ)

5. 電源を入れ、設定を確認する

正常に設定されていると、電源ランプが緑色に点灯します。

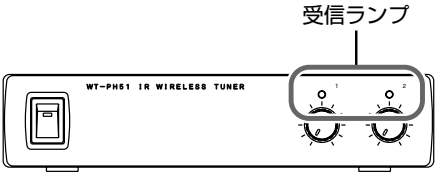
ご注意

- 正常に設定されていない場合、本機の電源を入れると、電源ランプが緑色と赤色の点灯を交互に繰り返します。
再度、チャンネル設定を見直してください。

チャンネルを設定する（つづき）

近くに光ワイヤレスチューナーがあるときの確認方法

本機の電源を入れたとき、光ワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯すると、正常にチャンネル設定がされています。点灯しないときは、チャンネル設定を見直してください。



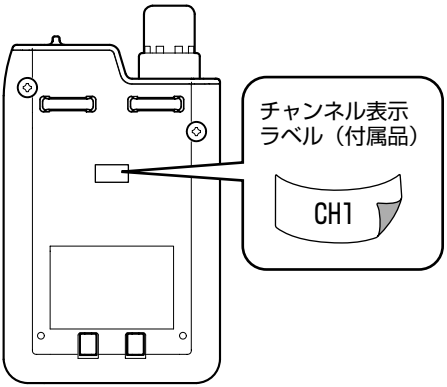
<光ワイヤレスチューナー>

ご注意

- 光ワイヤレスマイクロホンを同時に 2本以上使用するときは、それぞれ異なるチャンネルに設定してください。同じチャンネルの光ワイヤレスマイクロホンを同時に使用すると、光ワイヤレスチューナーが正常に受信できません。

メモ

- 設定終了後、チャンネル表示ラベル（付属品）をチャンネル表示ラベル貼付部にはることをおすすめします。

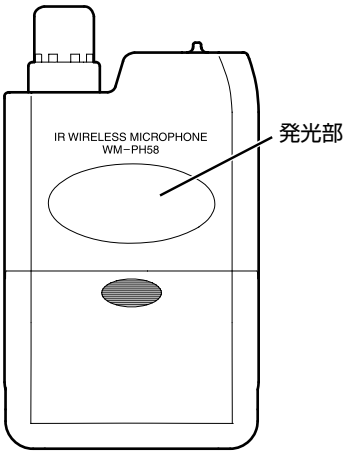


装着のしかた

・本機にストラップを取り付けて、首から下げて使います。
・ストラップの長さは、マイクユニットと口との距離が 20 ～ 25cm になるように調整してください。

ご注意

- 本システムは赤外線を使って音声を送信しているため、光ワイヤレスマイクロホンと受光センサーの間を遮ると音がとぎれることがあります。
- 本機をポケットに入れて使用しないでください。
- 発光部を衣服などで覆い隠さないように使用してください。



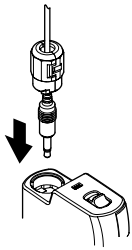
タイピンマイクキット（別売）を使う

・本機のマイクユニットの代わりに別売のタイピンマイクキット WT-UM80 を使います。
・WT-UM80　の取扱説明書もお読みください。

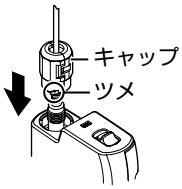
1. マイクユニットをはずす

(☞ 7 ページ)

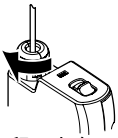
2. タイピンマイクを本機に取り付ける



① プラグを差す



② キャップのツメを本機の溝に合わせてキャップを差し込む



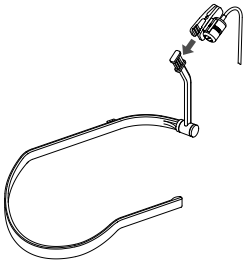
③ 矢印の方向へ回す

3. マイク感度を設定する

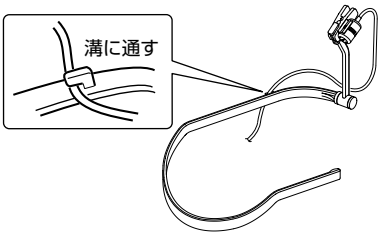
本機のマイク切換スイッチを「HI」に設定します。(☞ 12 ページ)

■ ネックホルダーの使い方

1. タイピンマイクをネックホルダーに取り付ける。

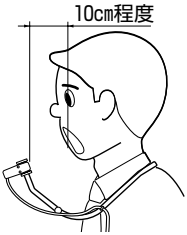


2. マイクケーブルをネックホルダーの溝に通す。



せまい室内で、スピーカーから近すぎる場合など、ハウリングがおきやすくなるときタイピンマイクキットに付属のネックホルダーのご使用をおすすめします。このときは、本機のマイク感度切換スイッチを「LO」に設定します。(☞ 12 ページ)

ネックホルダーを装着するときは、マイク部と口との距離が 10cm 程度になるようにしてください。
近すぎると雑音の原因となります。



ご注意

● 本機の装着は、ストラップを使って首から下げてお使いください。衣服のポケットなどに入れると、本機発光部が覆われるために雑音が出たり、使用できない場合があります。

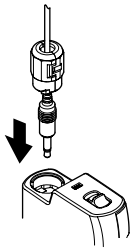
ヘッドセットマイクキット(別売)を使う

・マイクユニットの代わりに別売のヘッドセットマイクキット WT-UM82 を使います。
・WT-UM82 の取扱説明書もお読みください。

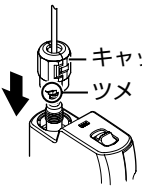
1. マイクユニットをはずす

(☞ 7 ページ)

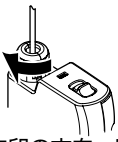
2. ヘッドセットマイクを本機に取り付ける



① プラグを差す



② キャップのツメを本機の溝に合わせてキャップを差し込む



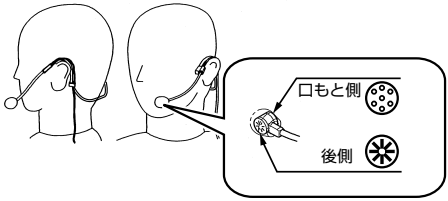
③ 矢印の方向へ回す

3. マイク感度を設定する

本機のマイク感度切換スイッチを「LO」に設定します。(☞ 12 ページ)

■ ヘッドセットマイクの装着のしかた

1. 左右両方の耳にかけてお使いください。
2. マイクロホンは方向性があります。正しく口もとに向けてください。方向が合っていないと、音声が小さくなります。



ご注意

- 本機の装着は、ストラップを使って首から下げてお使いください。WT-UM82 に添付のウエストバックや衣類のポケットに入れると、本機発光部が覆われるために雑音が出たり、使用できない場合があります。

こんなときは

使用中に不具合が生じたときは、下記の内容を調べてください。
それでも症状が改善されないときは、お買い上げ販売店または、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	確認事項	処置	参照ページ
電源スイッチを"ON" にしても、電源ランプが点灯しない。	電池は正しく入っていますか。	電池を正しく入れてください。	9
	電池切れになっていませんか。	専用充電式電池の場合は、充電してください。	11
		乾電池の場合は、新品の乾電池と交換してください。	9
	マイクユニットが本機からはずれていませんか。	マイクユニットを本機にしっかり差してください。	7
電源スイッチを"ON" にしたときや、使用中に、電源ランプが赤色に点灯する。	電池が消耗しています。	専用充電式電池を充電してください。	11
		新品の乾電池と交換してください。	9
電源スイッチを"ON" にしたとき、電源ランプが緑色⇔赤色に交互に点灯する。	チャンネル設定スイッチは正しい位置にありますか。	チャンネル設定スイッチを正しい位置に設定してください。	13
電源スイッチを"ON" にしたときや、使用中に、電源ランプが赤色に点滅する。	–	お買い上げ販売店または、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。	–
送信できない。(光ワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯しない。)	本機と光ワイヤレスチューナーは、同一のチャンネルに設定されていますか。	本機のチャンネルを光ワイヤレスチューナーのチャンネルと同一に設定してください。	13
雑音がでる、音が途切れる。(本機を 1 本のみ使用)	受光センサーから離れた場所にいませんか。	受光センサーに近づいてください。	–
雑音がでる、音が途切れる、混信する。	チャンネルの設定が同じ光ワイヤレスマイクロホンはありませんか。	チャンネルを正しく設定してください。	13
	光ワイヤレスマイクロホン同士が近づきすぎていませんか。	光ワイヤレスマイクロホン同士を 50 cm 以上離してください。	4
	光ワイヤレスマイクロホンと受光センサーが近づきすぎていませんか。	光ワイヤレスマイクロホンと受光センサーを 2 m 以上離してください。	4

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より１年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

サービス窓口

- 下記 URL をご覧ください。
  http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html
- 業務用修理窓口（045-939-7320）

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	：光ワイヤレスマイクロホン
型名	：WM-PH58
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：

付属品および添付品について

この取扱説明書に記載されている「小型ドライバー」などの付属品および添付品は保証期間内でも有償となります。
お買い求めの際はお買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

赤外線波長	850 nm
赤外線発光強度	2 段階切換式
送信周波数	1ch:2.06 MHz、2ch:2.56 MHz、3ch:2.81 MHz、4ch:3.16 MHz、5ch:3.46 MHz、6ch:3.86 MHz
発振方式	水晶制御 PLL シンセサイザー方式
変調方式	直接周波数変調方式
周波数偏移	± 10 kHz (84 dB SPL 1 kHz)
コンプレッサ	1/2 対数圧縮コンパンダ方式
実用到達距離	8 m(発光強度「HI」)
マイクロホン型式	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
マイク感度	2 段階切換式
最大入力音圧	108 dB SPL
電源(使用電池)	DC 2.4 V(専用充電式電池× 2)または、DC 3.0 V(単 3 形乾電池× 2)
電池寿命	発光強度「HI」、常温で連続使用時 約 6 時間(専用充電式電池使用) 約 1 時間(単 3 形マンガン乾電池 /R6PU 使用) 約 4.5 時間(単 3 形アルカリ乾電池 /LR6 使用)
動作温度範囲	0 ℃～ +40 ℃
外形寸法	64 mm × 112 mm × 27 mm(幅×高さ×厚さ)(突起物含まず)
質量	85 g(電池含まず)
仕上げ	黒色シボ
付属品・添付品	保証書 ..... 1 電池の取扱いについてのご注意 ..... 1 取扱説明書(本書) ..... 1 チャンネル表示ラベル ..... 1 ストラップ ..... 1 専用充電式電池(部品番号:QAB0093-002) ..... 2 小型ドライバー(チャンネル設定用、本機内蔵) 1

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話 0120−2727−87
携帯電話・PHS 0570-010-114
一部のIP電話など 045-450-8950
FAX 045-450-2308
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ http://www3.jvckenwood.com/

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2017 JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation

LST0834-001F